

2027年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2026年10月30日
(証券コード6157)

目次

2027年3月期2Qの業績

P. 3	．．．	第2四半期決算の概要
P. 4	．．．	営業利益の増益要因
P. 5	．．．	損益計算書サマリー
P. 6	．．．	貸借対照表サマリー
P. 7	．．．	業績推移

2027年3月期の業績予想

P. 14	．．．	業績予想
P. 15	．．．	配当予想

参考資料

P. 17	．．．	新製品情報
P. 18	．．．	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 19	．．．	投資指標
P. 20	．．．	株価推移とバリュエーション
P. 21	．．．	I R 情報サイトのご案内

2027年3月期 第2四半期の業績



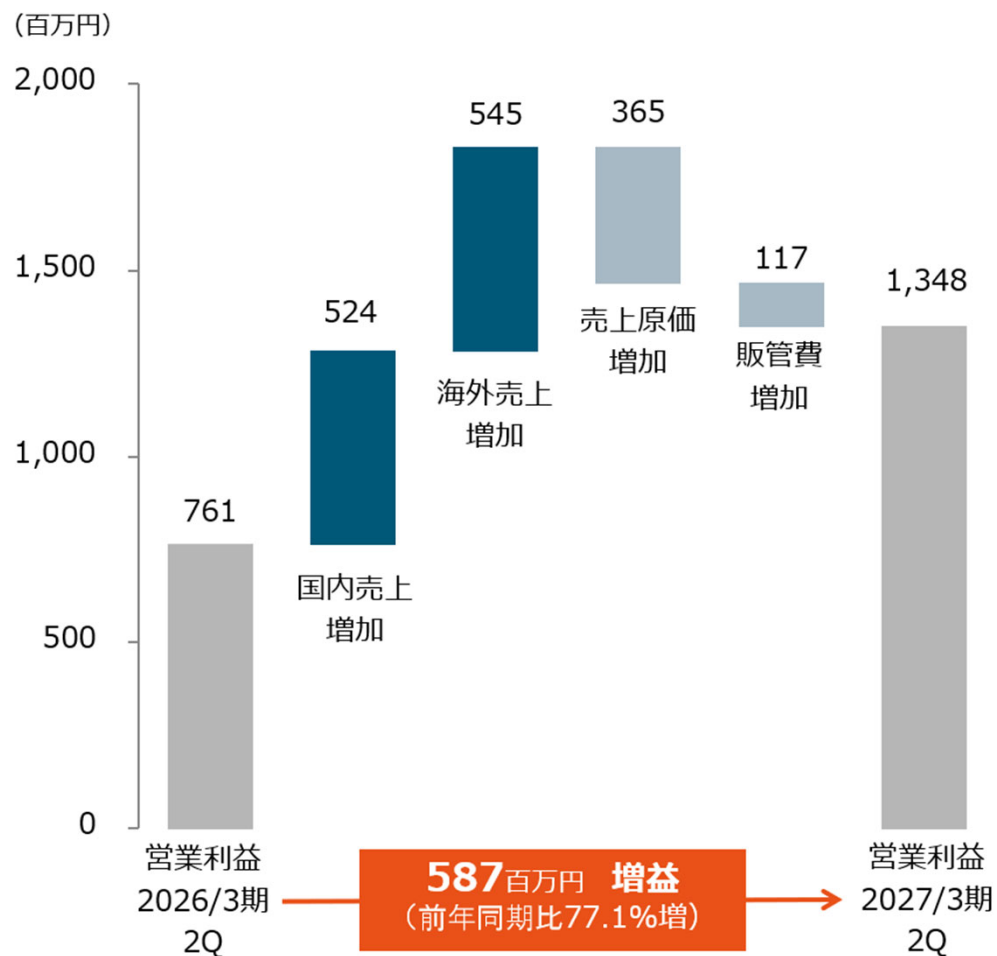
第2四半期決算の概要

前年同期に比べ大幅に増収・増益
 前回通期予想を上回る進捗のため、上方修正を実施

(単位：百万円)	2026年3月期 2Q累計	2027年3月期 2Q累計	2027年3月期 通期予想	進捗率
売上高	4,591	5,660	11,100	51.0%
前年同期比	-1.4%	+23.3%	+16.9%	
営業利益	761	1,348	1,750	77.1%
前年同期比	-6.3%	+77.1%	-10.7%	
経常利益	783	1,405	1,830	76.8%
前年同期比	-3.8%	+79.4%	-9.0%	
四半期純利益	543	1,012	1,230	82.3%
前年同期比	-4.3%	+86.1%	-14.7%	

- 国内や中華圏を中心とした海外において、半導体関連やデータセンター向け需要が堅調に推移したことに加え、原材料の供給懸念を背景とした在庫積み増しや、製品の価格改定を前にした先行発注の動きもあり、売上高は好調に推移した。また、原材料価格の高騰による原価への影響が一部に止まったため、上期は大幅な増益となった。
- 連結売上高は5,660百万円と、前年同期比23.3%の増加となり、連結経常利益は1,405百万円と同79.4%増加した。売上高経常利益率は24.8%と同7.7ポイント上昇した。
- 下期の市場環境は引き続き堅調に推移すると予想する一方、原材料価格の高騰による原価への影響が一段と強まる見通しであることから、これらを織り込み、通期業績予想の修正を実施。（詳細はP.14参照）

営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前年同期比524百万円、17.6%増加、海外は同545百万円、33.9%増加した。売上高全体では同1,069百万円、23.3%の増加となった。
- 売上高の増加に伴い売上原価は同365百万円、16.9%増加した。原材料価格高騰の影響が上期はまだ一部に止まったことや、生産品目の選別と原価低減の取り組みにより売上原価の増加率は抑えられた。
- 販管費は同117百万円、7.0%の増加となった。人件費は増加した一方で、広告宣伝費など販売費はやや減少した。
- これらの結果、営業利益は同587百万円、77.1%増加し1,348百万円となり、売上高営業利益率は23.8%と7.2ポイント上昇した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2026年3月期 2Q累計	2027年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率	内容詳細
売上高	4,591	5,660	+23.3%	P. 7 - 9参照
売上総利益 対売上高比率	2,425 52.8%	3,129 55.3%	+29.0%	P. 10参照
販管費 対売上高比率	1,664 36.2%	1,781 31.5%	+7.0%	P. 11参照
営業利益 対売上高比率	761 16.6%	1,348 23.8%	+77.1%	P. 12参照
経常利益 対売上高比率	783 17.1%	1,405 24.8%	+79.4%	P. 12参照
四半期純利益 対売上高比率	543 11.8%	1,012 17.9%	+86.1%	
設備投資額	421	178	-57.8%	設備投資計画を一部見直し(P.14参照)
減価償却費	290	277	-4.6%	
従業員数（人）	369	364	-1.4%	

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2026年 3月期末	構成比	2027年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	13,459	68.7%	14,485	70.9%	+7.6%
現金及び預金	9,567	48.8%	10,402	50.9%	+8.7%
受取手形及び売掛金	1,418	7.2%	1,425	7.0%	+0.5%
棚卸資産	2,350	12.0%	2,519	12.3%	+7.2%
II 固定資産	6,135	31.3%	5,948	29.1%	-3.1%
有形固定資産	4,765	24.3%	4,592	22.5%	-3.6%
無形固定資産	28	0.1%	23	0.1%	-15.6%
投資その他の資産	1,342	6.8%	1,332	6.5%	-0.8%
資産合計	19,595	100.0%	20,433	100.0%	+4.3%
(負債の部)					
I 流動負債	1,523	7.8%	1,633	8.0%	+7.2%
買掛金	237	1.2%	404	2.0%	+70.1%
II 固定負債	220	1.1%	221	1.1%	+0.3%
負債合計	1,743	8.9%	1,854	9.1%	+6.3%
(純資産の部)					
自己資本合計	17,657	90.1%	18,384	90.0%	+4.1%
純資産合計	17,851	91.1%	18,578	90.9%	+4.1%
負債・純資産合計	19,595	100.0%	20,433	100.0%	+4.3%

流動資産

法人税等や賞与の支払があったものの、現金及び預金が増加したこと等から前期末比7.6%増加。

固定資産

減価償却により有形固定資産及び無形固定資産が減少し、同3.1%減少。

負債

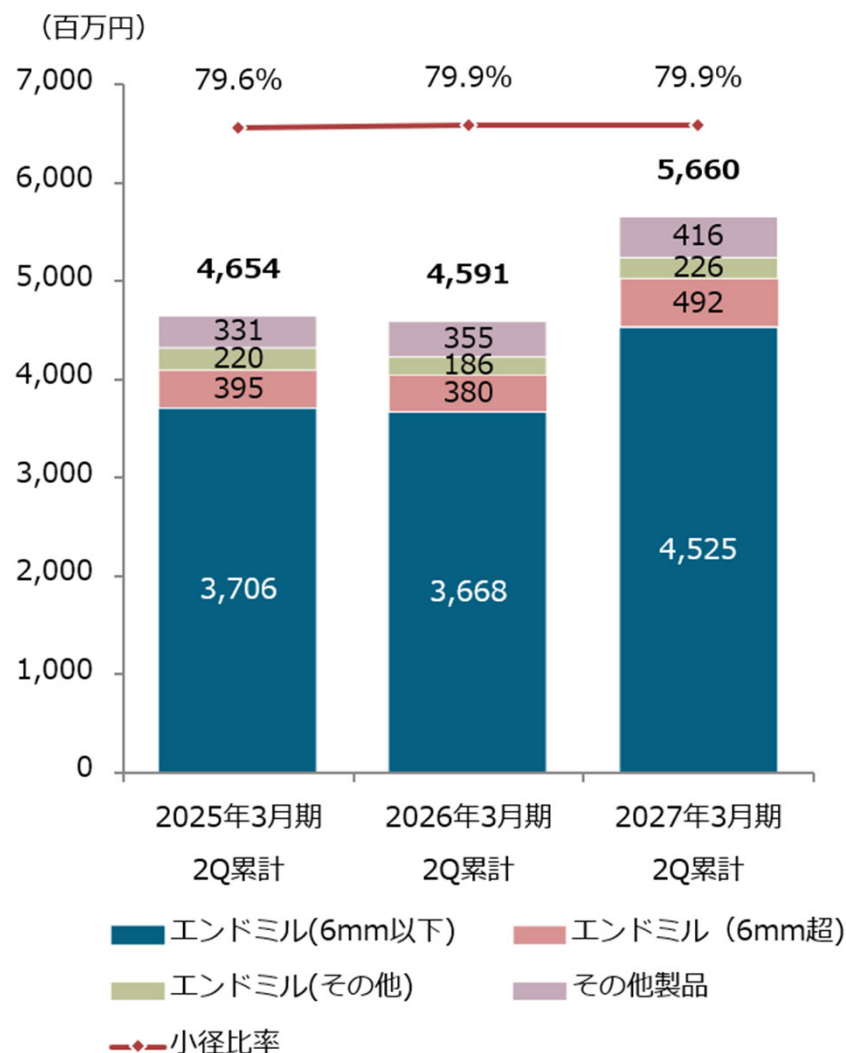
原材料の値上がりによる買掛金の増加等により、同6.3%増加。

純資産

利益剰余金の増加等から、同4.1%増加。自己資本比率は90.0%と同0.1ポイント低下。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

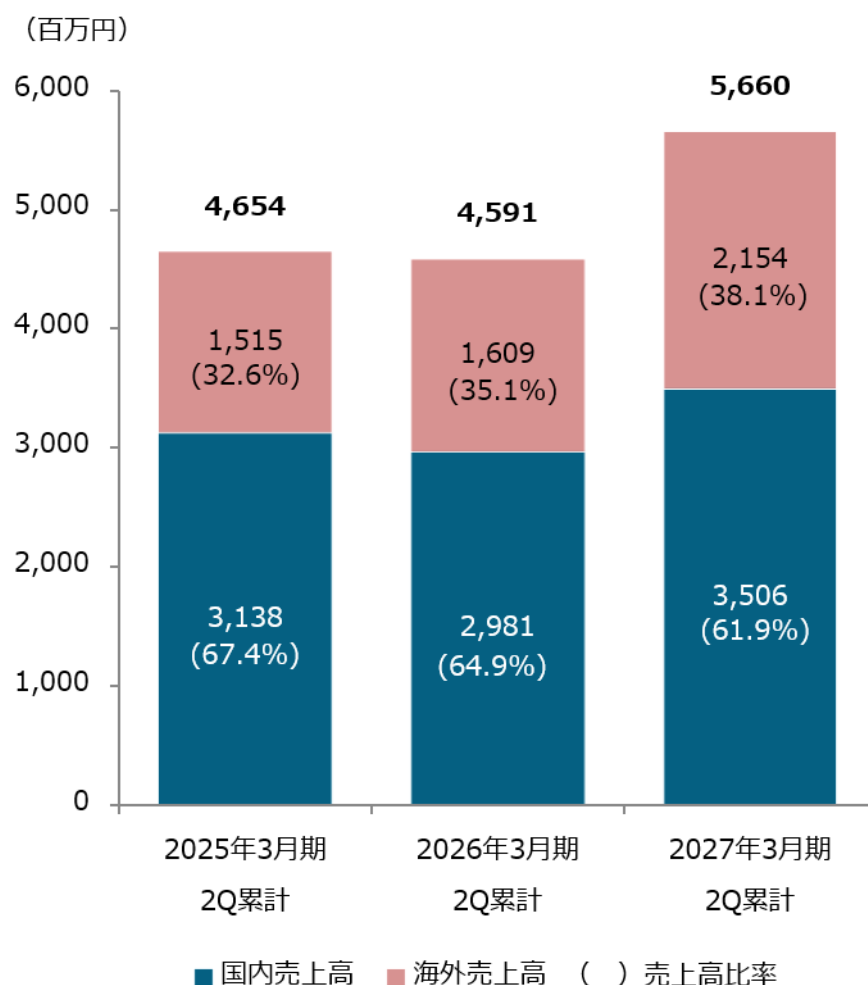
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前年同期比23.4%の増加、エンドミル（6mm超）は同29.3%増加、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同21.5%増加し、工具ケース等のその他製品は同17.2%増加した。
- 売上高5,660百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上は4,525百万円と前年同期より増加したものの、他製品も増加したことにより、小径比率は79.9%と横ばい。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

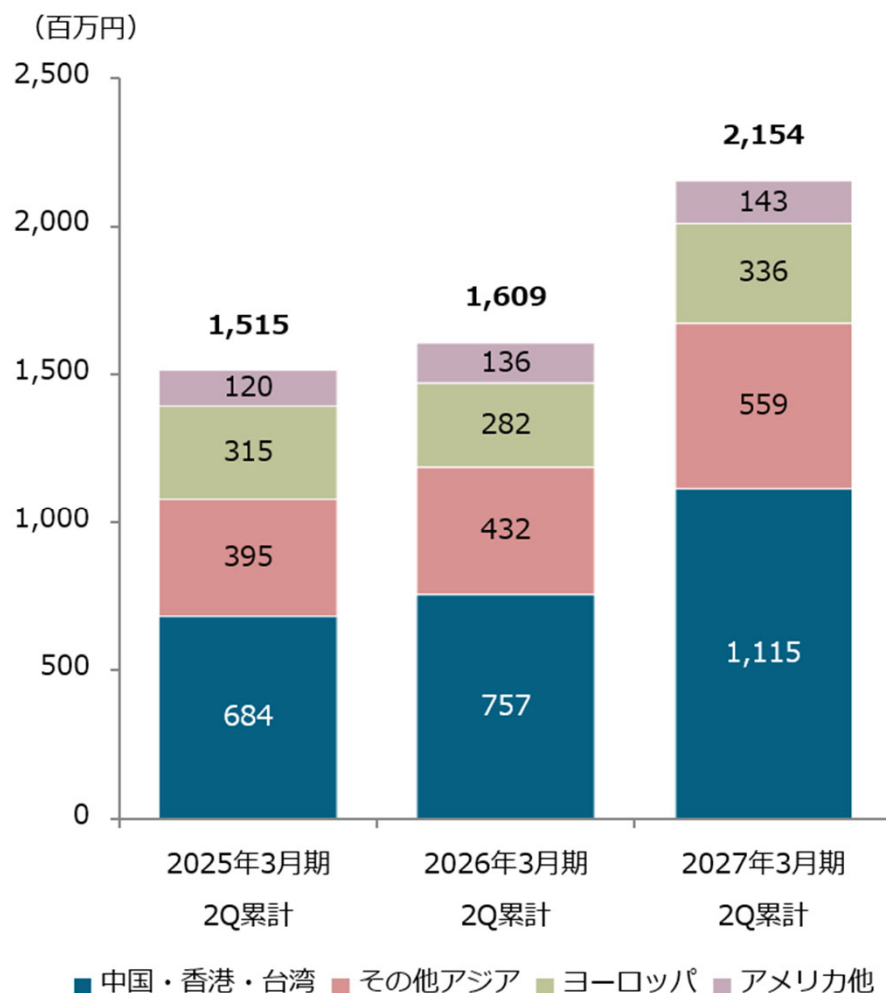
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比524百万円、17.6%増加し3,506百万円となった。データセンター向け需要が堅調に推移し、ロボティクス、航空宇宙関連などの成長分野においても需要の高まりが見られた。一方、自動車関連は、EV戦略の見直し等により、一部で設備投資に慎重な動きが見られた。
- 海外売上高は同545百万円、33.9%増加し2,154百万円となった。中華圏やその他アジアが引き続き好調だった。各地域別の詳細については次ページ参照。
- 海外売上高の伸び率が国内売上高を上回ったことにより、海外売上高比率は前年同期比3.0ポイント上昇の38.1%となり、半期ベースで過去最高の比率となった。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

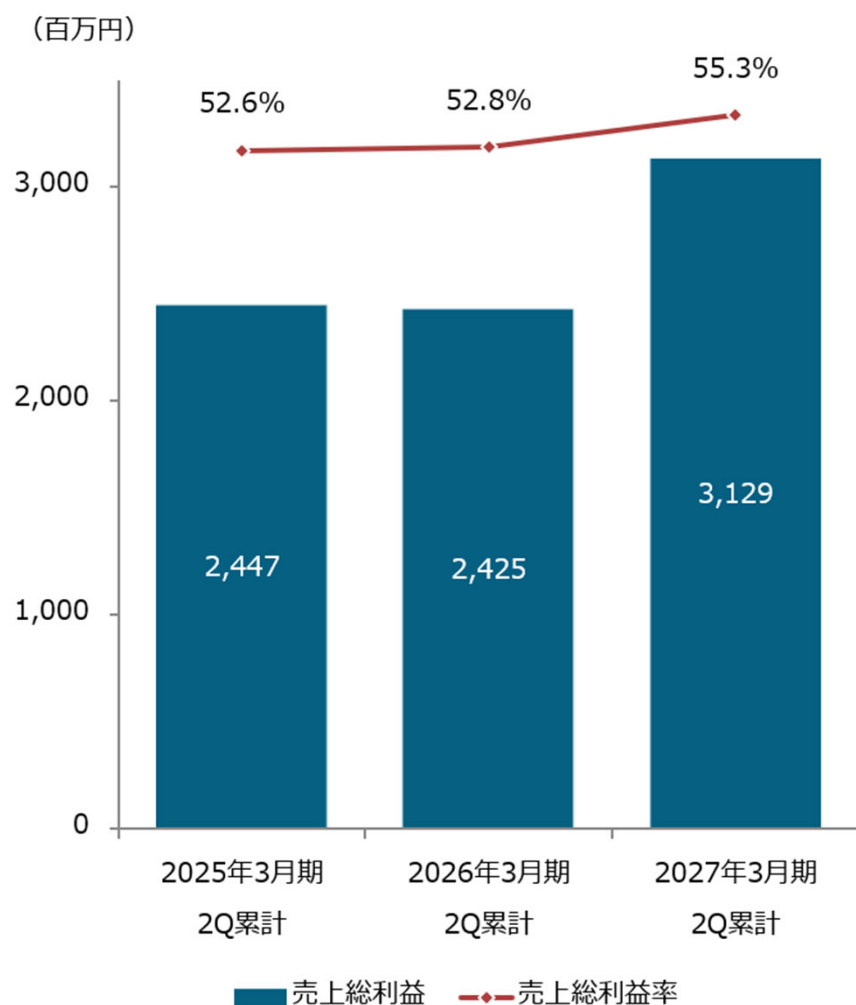
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比47.1%増加し1,115百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-6月分。自動車向けを含む光学・センサー関連の受注が引き続き好調に推移したほか、台湾では、AIデータセンター・半導体関連の需要も拡大した。
- その他アジアは同29.3%増加し559百万円。インドは内需好調により自動車や家電向け需要が拡大した。タイやベトナム等東南アジアでもデータセンター・半導体関連需要が拡大した。
- ヨーロッパは同19.2%増加し336百万円。市況は好転していないが、一部の主要ユーザー向けの販売が伸長した。
- アメリカ他は同5.0%増加の143百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-6月分。現地通貨ベースでの売上は微減だったが円安による円換算の影響が寄与した。

業績推移（売上総利益の推移）

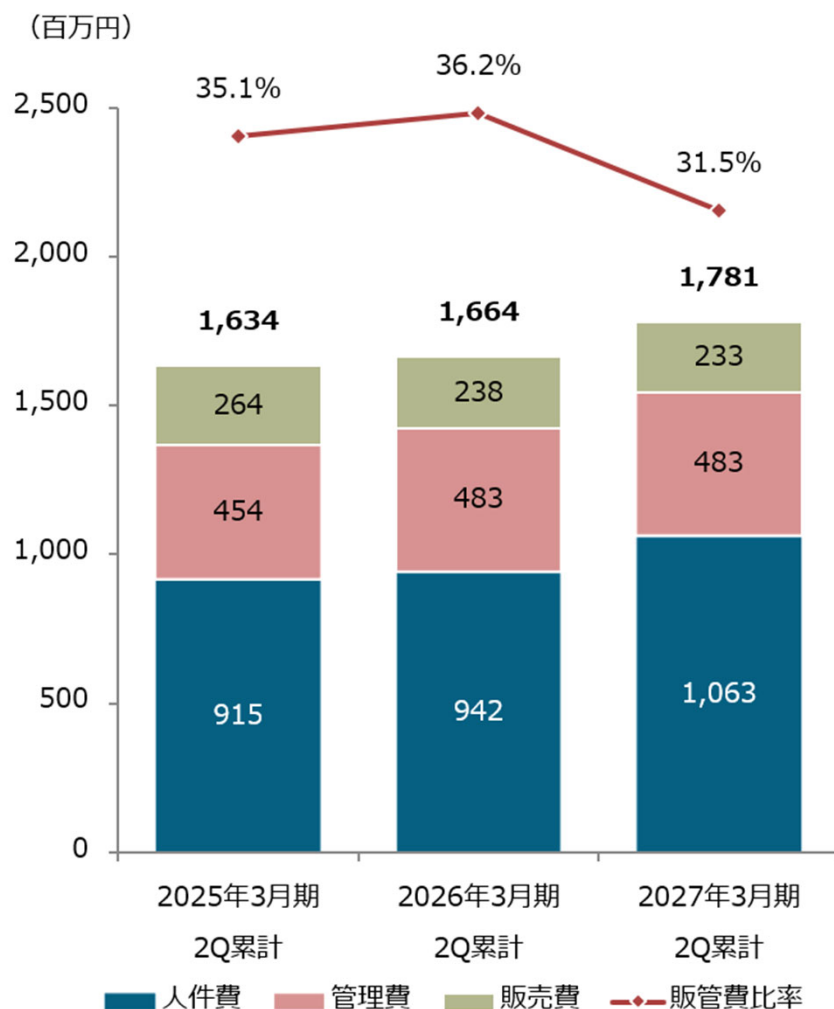
売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費は増産に加え、高価格で調達した原材料への切り替えが徐々に進んでいることから、前年同期比37.9%増加、外注加工費は同8.6%増加、労務費は同15.7%増加、一方、製造経費は製造修繕費や製造減価償却費の減少等により同3.0%減少した。
- 売上高は同23.3%増加した一方で、売上原価は同16.9%の増加に止まった。確保していた原材料在庫の活用により材料費の上昇が抑えられたことに加え、原材料価格の高騰に対応した生産品目の選別や継続的な原価低減の取り組みが奏功した。
- 売上総利益は同29.0%増加し3,129百万円、売上総利益率は55.3%と同2.5ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

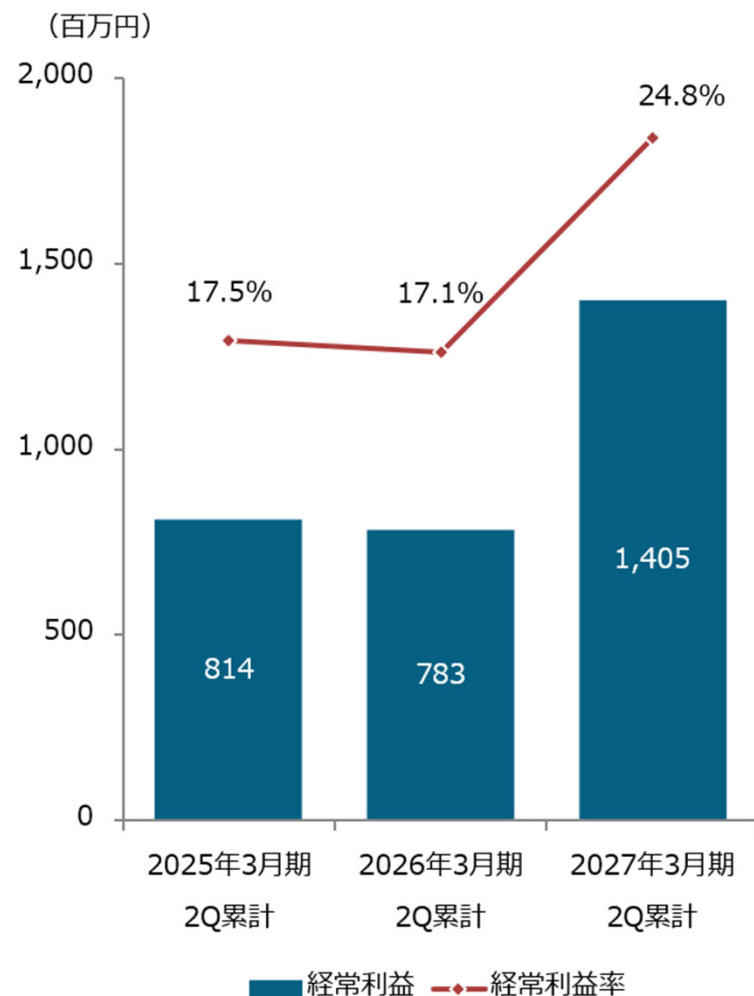
販管費と販管費比率の推移



- カタログ改訂費用等の広告宣伝費や、国内の大規模展示会の出展費用等が今期は下期に発生が予定されていることから、販売費は前年同期比1.8%減少の233百万円にとどまった
- 人件費は、賞与引当金繰入額の増加等により、同12.8%増加し1,063百万円。
- 販管費全体では同7.0%増加の1,781百万円となった。販管費の増加率が売上高の伸び率を下回ったことにより、売上高販管費比率は同4.7ポイント低下し、31.5%となった。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 増収と原価率改善により売上総利益が増加したことに加え、販管費の増加が抑えられたことにより、営業利益は前年同期比77.1%増加し1,348百万円となった。
- 営業外損益は、金属廃材価格の高騰により作業くず売却益が増加したこともあり、営業外収益が営業外費用を56百万円上回り、経常利益は1,405百万円、同79.4%の増加。
- 売上高経常利益率は24.8%と前年同期に比べ7.7ポイント上昇した。

2027年3月期の業績予想



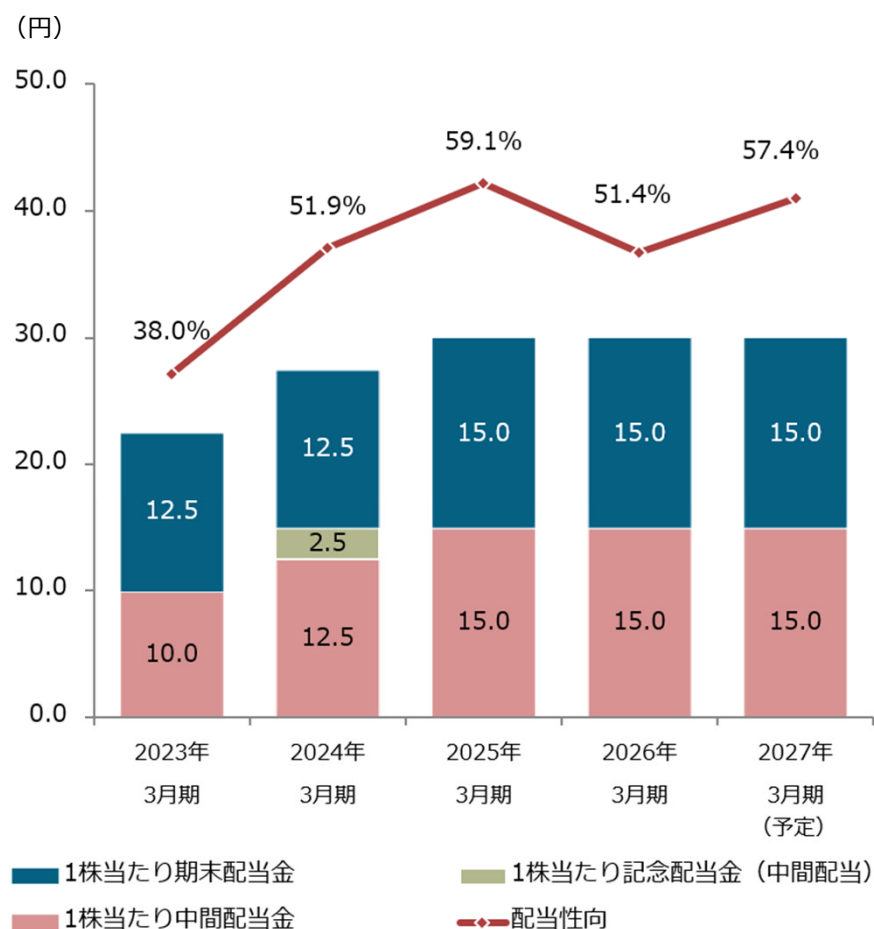
業績予想

(単位：百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	前期比 増減率	前回 通期予想
売上高	9,494	11,100	+16.9%	10,570
営業利益	1,959	1,750	-10.7%	1,170
経常利益	2,011	1,830	-9.0%	1,180
当期純利益	1,442	1,230	-14.7%	780
設備投資額	486	636	+30.9%	957
減価償却費	605	619	+2.4%	659
EPS (円)	58.38	52.28	-10.4%	33.16
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—	30.00

- 上期については、AI・データセンター向けを中心に需要が堅調であったことに加え、原材料の供給懸念や当社製品の価格改定を見据えた先行発注の動きもあり、売上高は前回発表予想を上回った。また、原材料在庫の早期確保と生産計画の徹底により、売上原価が計画水準を下回ったことから、利益面においても前回発表予想を大幅に上回る結果となった。
- 下期については、AIデータセンター関連での実需が底堅く推移するものと見込まれる一方、高止まりする素材価格による原価への影響が一段と強まることから、上期と比べ大幅な減益を見込む。上期実績と下期予想を踏まえ、通期業績予想の上方修正を実施。
- 設備投資額は、設備計画の精査を行い、一部見直しを実施。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円を予定。

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2026年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円。
 中間配当金15.0円
 期末配当金15.0円
 業績に対する配当性向は51.4%
- 2027年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。
 中間配当金15.0円
 期末配当金15.0円
 業績予想に対する配当性向は57.4%
- 株主優待
 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
 1単位（100株）以上を3年以上保有（※）されている
 株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

参考資料



新製品情報（今冬発売予定）

無限コーティングプレミアム 高硬度鋼用スレッドミル（メートルねじ）『MHTM』

- ✓ 下穴なしで高硬度鋼へのめねじ加工が可能
- ✓ 焼き入れ後の後加工に最適

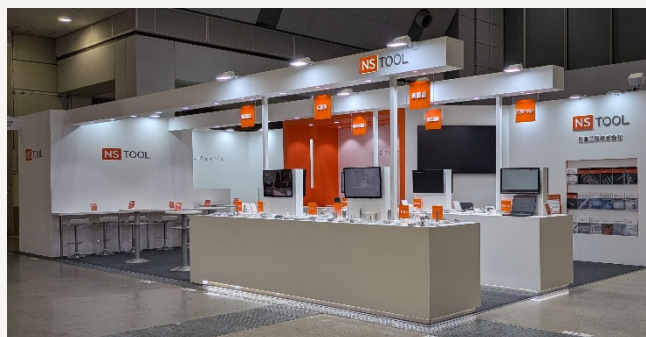


アルミ加工用3枚刃4倍刃長エンドミル『AL4D-3』 アルミ加工用3枚刃5倍刃長エンドミル『AL5D-3』

- ✓ 刃全体を使った加工でも、安定した加工を実現
- ✓ 3枚刃で高速加工に対応し、加工時間を短縮



2026年10月26日より開催の『JIMTOF2026』にて、上記新製品の発表を行いました。

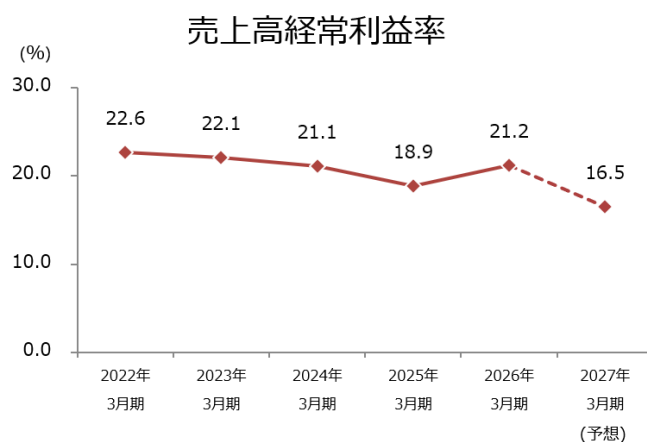
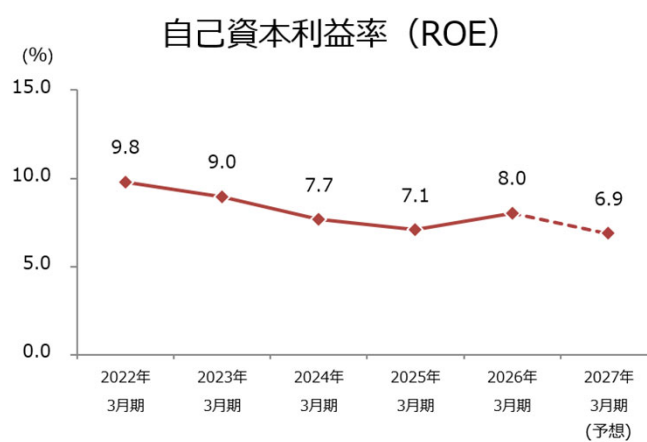
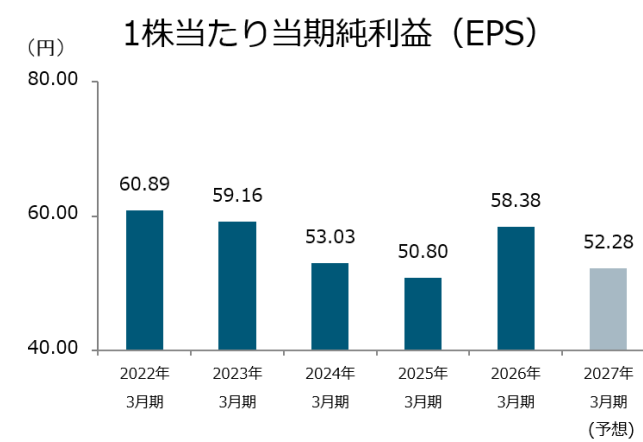
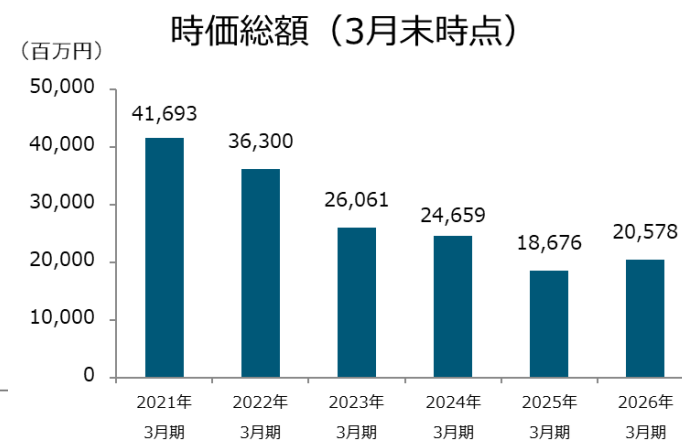


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績
売上高	9,524	9,656	9,040	9,431	9,494
営業利益	2,111	2,108	1,867	1,767	1,959
営業利益率	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%	20.6%
経常利益	2,156	2,131	1,908	1,779	2,011
経常利益率	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%	21.2%
当期純利益	1,522	1,475	1,320	1,264	1,442
当期純利益率	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%	15.2%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	16,165	17,200	17,729	18,415	17,851
総資産額	17,874	18,857	19,241	19,941	19,595
自己資本比率	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%	90.1%
設備投資額	659	686	563	111	486
減価償却費	692	669	627	644	605
1株当たり配当金（円）	22.50	22.50	27.50	30.00	30.00
従業員数（人）	348	352	350	358	364

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

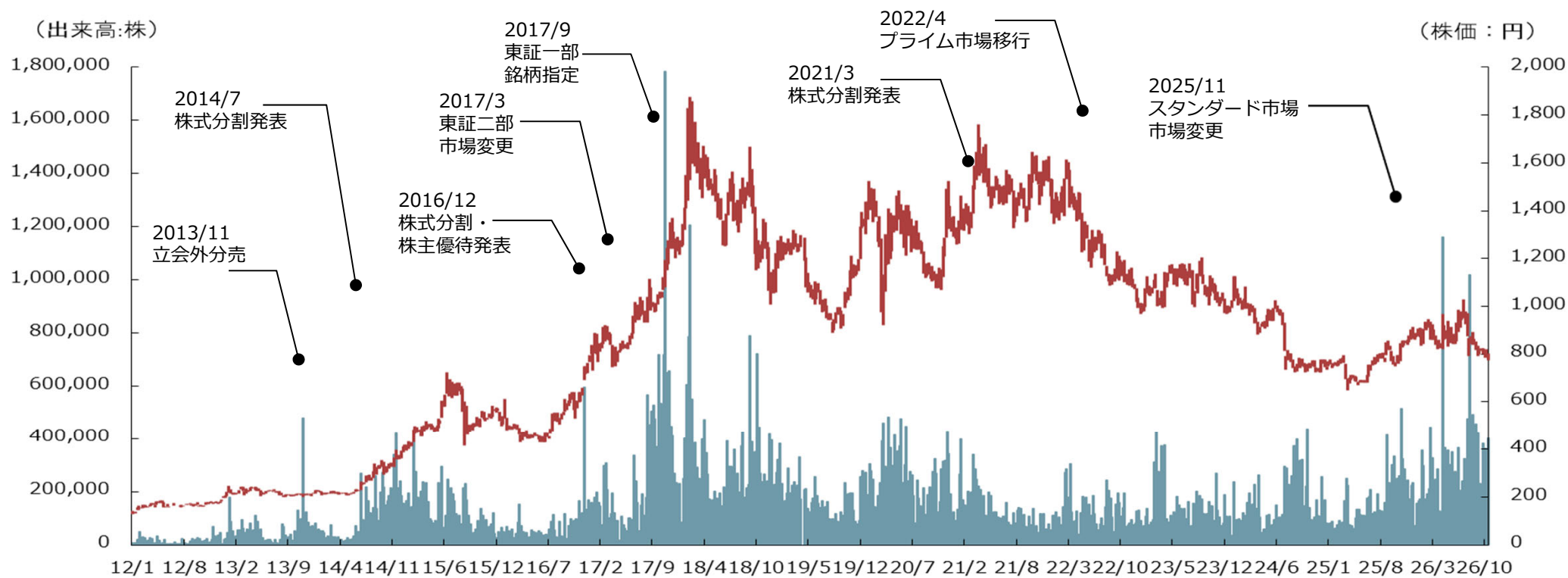
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2026年10月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2026年10月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	201億円
ROE (26/3期実績)	8.0%

単元株価格	8万500円
P E R (27/3期予想)	15.40
P B R (26/3期実績)	1.07倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内



IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役 経営企画室長兼財務経理部長	戸田 覚
財務経理部 経理課長	佐原 大樹
財務経理部 I R担当	松尾 友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。